

2011年12月22日

第49回技能五輪全国大会「電気溶接」において銅賞を受賞

(宇部興産機械株式会社 杉岡利弥選手)

12月12日(月)～12月19日(月)、静岡県で開催された第49回技能五輪全国大会「電気溶接」において、宇部興産機械株式会社(社長:岡田徳久、以下 宇部興産機械)の杉岡利弥選手が銅賞に入賞しました。

技能五輪全国大会とは、青年技能者(23歳以下)の技能レベルの日本一を競う大会であり、次代を担う青年技能者に努力目標を与えるとともに、技能の重要性、必要性をアピールし、技能尊重機運の醸成を図ることを目的に毎年開催されています。

宇部興産機械ではこれからの担う若き世代へ高度な技能を伝承することを目的に、2004年から全国大会へ出場して参りましたが、第45回大会に続き、今回2度目の銅賞入賞を果たしました。

1. 「電気溶接」の職種概要 多くの工業製品は金属部分を接合し製作されており、その接合に要する溶接技術はモノづくりの基礎となるものです。

4時間20分の競技時間内に「ティグアーク溶接のアルミニウム合金の組立品」「ティグアーク溶接のステンレス鋼の組立品」「被覆アーク溶接、MAG溶接の板継溶接」「被覆アーク溶接、MAG溶接による鋼製圧力容器の製作」の4種類の課題をおこないます。

作品は寸法精度、外観、非破壊検査(RT)、耐圧性能(強度)、そして作業時間が評価の対象になります。技能者には図面の読解力、溶接施工能力そして欠陥の無い健全な溶接技術・技能、スピードが必要で、溶接に関する高い総合能力が求められます。

2. 選手プロフィール 杉岡利弥(まつおか としや) 22歳

2008年4月に入社、現在は宇部興産機械 製造2部製造1課に在籍

技能五輪全国大会へは一昨年、昨年(過去2回大会は敢闘賞受賞)に引続き、3回目の出場

3. 受賞コメント 今回、三度目の出場で銅賞を受賞することができました。前回、前々回は敢闘賞でしたので、今回は銅賞以上を最低限の目標とし、「容器寸法」「脚長」「板継の非破壊検査(RT)」の3点に重点をおいて組立、溶接、仕上げの時間配分を計画しました。

試行錯誤しながらも、繰り返し課題を行い、欠点の克服に妥協しなかったことが今回の結果に大きく繋がったと思います。出場の機会を与えて下さった会社の皆様方を初め、指導員の方々や先輩方にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。これまでの練習や本大会出場で培った技術や経験を、これからの仕事に活かして頑張っていきたいと思っています。

